



2026 年 2 月 9 日

各 位

会 社 名：株式会社イノベーション
代表者名：代表取締役社長 CEO 富田 直人
(コード番号：3970 東証グロース)
問合せ先：執行役員(経営企画担当) 笹岡 大志
(TEL：03-5766-3800)

2026 年 3 月期通期連結業績予想の修正並びに役員報酬の減額に関するお知らせ

2025 年 5 月 12 日に公表いたしました 2026 年 3 月期（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）の連結業績予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、役員報酬の減額について決議いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

1. 2026 年 3 月期通期連結業績予想の修正（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 8,300	百万円 390	百万円 340	百万円 200	円 銭 75.15
今回発表予想 (B)	7,080	△257	△342	△451	△169.45
増減額 (B-A)	△1,219	△647	△682	△651	—
増減率 (%)	△14.7	△165.9	△200.7	△325.6	—
(ご参考) 前期実績 (2025 年 3 月期)	5,343	351	340	67	25.35

修正の理由

当連結会計年度における連結業績予想につきましては、生成 AI の普及に伴う急速な市場環境の変化への対応に加え、中長期的な成長基盤を強固にするための戦略的投資および構造改革を優先した結果、前回公表値を下回る見通しとなりました。

具体的には、オンラインメディア事業において、生成 AI の影響による検索エンジン経由のトラフィック減少（前年同期比 34.2%減）に伴い広告効率が低下したことを受け、検索流入に依存しないデータプラットフォームへの移行を加速させました。しかしながら、開発難易度の上昇に伴う構築コストの増加に加え、収益貢献が次年度以降へ後ずれする見込みとなったことが利益面を圧迫する一因となりました。

また、金融プラットフォーム事業における IFA 業務委託部門の売却に伴う一時的な減収に加え、売却により圧縮を見込んでいた管理コスト等の最適化（固定費削減効果の具現化）に遅れが生じております。これらに加え、株式会社シャノンの連結子会社化（TOB）に係る諸費用やそれに付随する監査追加コスト、及び 2025 年 12 月に完了したグループ再編コストの発生が重なったことも、業績予想値との乖離が生じる背景となっております。

以上のとおり、外部環境の変化への即応とグループ経営体制の最適化を最優先した結果、売上高、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益がいずれも前回公表値を下回る着地となる見通しです。

2. 役員報酬の減額について

当社は、通期連結業績予想の修正を受け、経営責任の明確化を目的として、下記のとおり役員報酬の一部減額を決定いたしました。

(1) 役員報酬減額の内容

代表取締役社長 CEO	富田 直人	月額役員報酬の 20%を減額
取締役会長	山崎 浩史	月額役員報酬の 20%を減額

(2) 減額の対象期間

2026 年 2 月から 2026 年 6 月までの 5 ヶ月

※業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づく作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上